

新規光輝性顔料

基板フリーの着色板状粒子からなるパール顔料

概要

従来のパール顔料は、マイカ基板に金属酸化物（TiO₂等）をコーティングすることで作成されていた。この従来のパール顔料は、マイカ基板の作製と二酸化チタンのコーティングとの2工程を経て製造され、二酸化チタン層の厚みを厳密に制御することは容易ではなかった。すなわち、従来法ではパール光輝性の発現、色相の制御が難しく、コストも高かった。

本発明は低コストで簡便な方法でパール光輝性を発現するパール顔料を製造可能な方法に関する。本発明のパール顔料は**特定基板を不要とする自立型の板状粒子**である。また**粒子サイズが大きい**ため**光沢の強い顔料**を提供することが可能である。

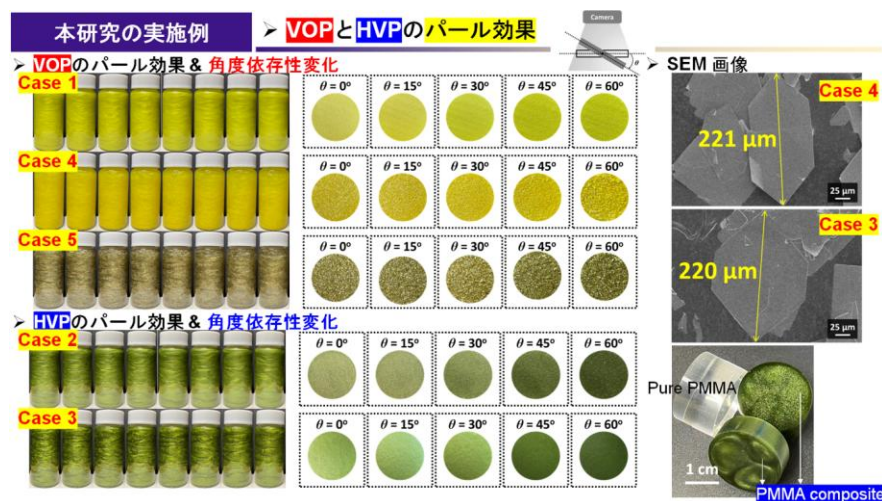
応用例

- 真珠光沢パール顔料
- 塗料（自動車、電子機器、インテリア etc）
- ガスセンシング材料

知的財産データ

知財関連番号 : WO2025/263220
発明者 : 殷シュウ、テイシュウ、セツゲイカイ、長谷川拓哉、大川采久
整理番号 : T24-003

性能・特徴等



関連文献

- [1] Q.Cheng, Y.Xue, T.Hasegawa, A.Okawa, K.Kushimoto, J.Kano, T.Sekino, S.Yin, J.Alloy. Compound. 1010, 177735, 2025
- [2] 東北大学プレスリリース

お問い合わせ

株式会社東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049

お問い合わせフォームは[こちら](#)